

静粛性 / 低振動

水冷エンジンは、空冷式に比べ、静粛性に優れた特徴を持ちますが、PCX では更に多くの技術を投入し、進化させました。

たとえば、市街地で常用する速度域のエンジン回転数を低く抑え、常用域の回転数で最大トルクを発生し、従来の空冷 125cc エンジンに対し、約 16% トルクを向上させています。（例、60km/h 定地走行中のエンジン回転数は従来機種（スペイシー 125）より約 300rpm 低く抑えています。）エンジンの低回転化で静粛性の向上とエンジン自体の低振動化をはかり、従来の 125cc クラスになかった上質なフィーリングを達成しました。

また、始動時の静粛性を狙い 125cc 初の ACG スターターを搭載しました。ACG スターターとは発電コイルとモーターコイルを共用とし、エンジン始動時には ECU による制御でスターターモーターとして駆動し、発電時にはモーターとしての通電を停止し、AC ジェネレーターとして電気を取り出します。

ACG スターターによりエンジン始動時のクランキング音を無くす事ができ、非常に静かなエンジンスタートを実現します。また、後述するアイドルストップにより、信号待ちなどでのアイドルリングが自動的に停止する為、更なる低燃費と静粛性を獲得しました。

●ブラシレス ACGスターター構造

